

## 地域再生計画

### 1 地域再生計画の名称

四万十川流域の観光拠点改修プロジェクト

### 2 地域再生計画の作成主体の名称

高知県高岡郡四万十町

### 3 地域再生計画の区域

高知県高岡郡四万十町の全域

### 4 地域再生計画の目標

#### 4-1 地方創生の実現における構造的な課題

当町は四万十川の中流域に位置しており、また町のほぼ真ん中を東西に四万十川が流れている。その位置関係や「最後の清流」としての四万十川のイメージにより、町の主要産業である農業や観光に関して重要な関わりがあるほか、移住促進やふるさと納税などの施策においてもその好印象と抜群の知名度により大きな影響を与えており、近年は移住相談件数やふるさと納税による納税者数も増加している。

しかしながら、この四万十川において、近年は水産資源が激減し漁獲量が30年前から半減以下に低下し、観光面では地理的条件の不利（高知市内や高知空港からの移動距離の遠さ）や県内の他の河川での積極的な観光誘致活動による観光客の分散化などによる集客力の低下、四万十川を活用した学習機会や遊ぶ場面の減少、環境面では特に観光シーズンである夏季の河川水の透明度の悪化、農業濁水や河川流出ごみの抑制などの課題が山積している。また、流域の内水面漁協が5漁協あるなど、関係者や関係機関が多いため連携や合意形成が困難であった。

人口移動（国勢調査ベース）においても、男女ともに、10～14歳から15～19歳になるとき、及び15～19歳から20～24歳になるときに大幅な転出超過となっており、高校や大学への進学に伴う転出の影響が考えられる。一方で、20～24歳から25～29歳になる男性のみ若干の転入超過が見られるが、それ以外は男性・女性ともに40代後半まで転出超過となっている。出生数においてもここ数年間は毎年100人を下回っているため、社会減・自然減に対する施策についても早急な対応が必要である。

#### 4-2 地方創生として目指す将来像

##### 【概要】

四万十川の価値を構築している「水産資源」「自然環境」「流域に暮らす人々」について、それぞれを後世まで引き継ぎ、持続的に活用することができるようにするため、四万十川流域の環境の保全に努めるとともに、学校や地域と連携し、川の学習やふるさと教育に取り組むなど、地域の担い手となる人材の確保に努めていくこととしている。

また、そうした取り組みと合わせて、四万十川流域の観光施設についても、四万十川ジップラインやカヌー・ラフティング等の体験型観光メニューの充実や、キャンプ場の計画的な改修を行うことで、集客力の向上を図っていく計画であるが、その中で最も集客力の高い本町の観光拠点である海洋堂ホビー館の改修を行うことで、集客力と顧客満足度の向上により、観光客の増加に繋げていくとともに、その他の四万十川流域の観光施設や町内の飲食店等と連携した観光メニューの提案を行うなど、地域経済の活性化とにぎわいの創出に努める。

## 【数値目標】

K P I	事業開始前	2021年度増加分	2022年度増加分
	(現時点)	1年目	2年目
施設入館者数(人)	33,697	0	3,300
10人を超える団体客の受入件数(件)	40	0	4
物販による売り上げの拡大(ガチャ含む)(円)	18,927,331	0	946,000

2023年度増加分	2024年度増加分	2025年度増加分	K P I 増加分
3年目	4年目	5年目	の累計
3,300	3,300	3,300	13,200
4	4	4	16
946,000	946,000	946,000	3,784,000

## 5 地域再生を図るために行う事業

### 5-1 全体の概要

5-2の③及び5-3のとおり。

### 5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

#### ○ 地方創生拠点整備交付金(内閣府)：【A3007(拠点整備)】

##### ① 事業主体

高知県高岡郡四万十町

##### ② 事業の名称

海洋堂ホビー館四万十リニューアル事業

##### ③ 事業の内容

海洋堂ホビー館四万十に以下の整備を実施する。

- ・休憩機能と物販機能を目的としたスペースを当該施設入口に整備する。休憩・物販スペースは入場を無料とし、有料のフィギュア展示スペースを利用しない方でも自由に入出りできることとする。これにより、家族や友人など入館者を待つ際の待機場所や、物販の購入のみを目的とする利用に対応する

ことで快適性と利便性を向上し、滞在時間の増と物販による消費の拡大を図る。

・2階の収蔵スペースを改修し、多目的交流スペースとする。おもに団体客に対し、ジオラマづくりやフィギュアに関する講義などの活動スペース、荷物置場や待機所、団体飲食スペースなど幅広い目的での利用を可能にし、これまで懸念されていた団体客の滞在空間を確保し、受入を可能にする。

#### ④ 事業が先導的であると認められる理由

##### 【自立性】

本事業において増築・改築する部分の運営については、(株)奇想天外に管理委託し、既存建物部分と一体的に運営することとしている。物販スペースにおいては通常の販売物のほか周遊企画に関連した版權商品(「北斗の拳」や「エヴァンゲリオン」など訴求力の強いフィギュアコンテンツを活用したもの)の販売を展開し、売上拡大を図る。

##### 【官民協働】

H23年の海洋堂ホビー館四万十の開設にあわせ、「打井川地域づくり委員会」という地元集落で構成された自治活動団体が組織されている。現在は年に数回のイベント時に限り地元料理の販売等を行っているが、今回整備予定である休憩・物販スペースの一部を活用して地域農産物の販売等を行うなど、これまで以上に連携を強化し地域活性化の取り組みを展開する予定である。

また、当該地域を活動拠点とする地域おこし協力隊の募集も既に開始しており、地域との連携による魅力発信に取り組むこととしている。

##### 【地域間連携】

海洋堂の最大の強みであるフィギュアコンテンツの魅力を活かし、企画展示開催中には四万十町内をはじめ、高知市の公共観光施設など周辺地域を巻き込んだ周遊企画として、「春の四万十周遊百裂拳(令和元年3月~6月)」「シメント補完計画(令和2年3月~)」を展開している。飲食・宿泊・体験施設などの利用促進につながっており、今後

も協力体制を強化しながら周辺地域への回遊を高め観光消費の拡大を図る。

#### 【政策間連携】

海洋堂ホビー館を含む打井川地域を中心に活動する地域おこし協力隊の募集を行っており、海洋堂ホビー館を中心とした地域づくり活動を通して施設の魅力発信や利用促進につなげる。

また、JR予土線の利用促進を目的として関連自治体（高知県、四万十町、高知県四万十市、愛媛県、愛媛県松野町、愛媛県鬼北町、愛媛県宇和島市）により組織している「予土線利用促進対策協議会」においては、令和3年度に海洋堂フィギュアの企画展とそれに連携した周遊企画のテーマを取り入れたラッピング車輛の制作と、乗車記念企画等を実施しJR予土線の利用促進と沿線の交流拡大を図ることとしている。

#### ⑤ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4-2の【数値目標】に同じ。

#### ⑥ 評価の方法、時期及び体制

##### 【検証方法】

四万十町総合振興計画審議会による効果検証を行う。毎年度8月に3月末時点のKPI達成状況を企画部署が取りまとめて実施する。

##### 【外部組織の参画者】

農協、森林組合、商工会、高知県、教育委員会、農業委員会、大学（学識経験者）、教育機関（小中学校校長会）、金融機関、メディア、公的団体（区長会）、町民（公募委員）

##### 【検証結果の公表の方法】

毎年度ホームページで公表する。

#### ⑦ 交付対象事業に要する経費

- 法第5条第4項第1号イに関する事業【A3007】

総事業費 55,450千円

#### ⑧ 事業実施期間

地域再生計画の認定の日から2026年3月31日まで

⑨ **その他必要な事項**

特になし。

5-3 **その他の事業**

5-3-1 **地域再生基本方針に基づく支援措置**

該当なし。

5-3-2 **支援措置によらない独自の取組**

○**ホビー館推進事業**

(ア) **事業概要**

ホビー館の来館者数の増加を図るため、海洋堂の最大の強みであるフィギュアコンテンツの魅力を活かし、企画展示の実施や体験教室、ステージを活用したイベントや広報活動を実施する。

(イ) **事業実施主体**

高知県高岡郡四万十町

(ウ) **事業実施期間**

2021年4月1日から2026年3月31日まで

**6 計画期間**

地域再生計画の認定の日から2026年3月31日まで

**7 目標の達成状況に係る評価に関する事項**

7-1 **目標の達成状況に係る評価の手法**

5-2の⑥の【検証方法】及び【外部組織の参画者】に同じ。

7-2 **目標の達成状況に係る評価の時期及び評価を行う内容**

4-2に掲げる目標について、7-1に掲げる評価の手法により行う。

7-3 **目標の達成状況に係る評価の公表の手法**

5-2の⑥の【検証結果の公表の方法】に同じ。